

令和5年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

I. 令和5年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、設立時の基本理念を念頭に、美術・歴史の文化振興に努め、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに豊かな生活と活力ある地域の文化形成に寄与することを使命として、多くの方に喜んでもらえるよう事業を実施してまいります。

令和5年度につきましても、新型コロナ禍の状況が完全に解消されることはないと予想されますが、感染防止対策に努めつつこれまで以上に事業を積極的に展開していきます。

公1(美術館・ギャラリーの運営事業)については、「たましん美術館」(立川市)をメインの館として企画展を昨年度より1会期多い、4会期開催予定です。第1会期の「相田みつを展」は多摩信用金庫90周年記念の展覧会であり、これからの未来への展望を鑑賞者に感じてもらう内容となっております。第2会期「大國魂神社宝物展」、第3会期「五美大版画教員展」、第4会期「邨田丹陵展」の企画展においては、地域と連携した展覧会を実施致します。「たましん歴史・美術館」(国立市)では、たましんコレクションを中心に、テーマをしぼった作品を選定し、展示します。また、各展覧会においてトークイベント、講演会を実施し、作家、作品の魅力を深めていきます。併せて、たましん美術館周辺施設、学校との連携を図り、広く美術の愉しさを知っていただくためのイベントを開催します。

公2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)は、例年通りの事業が中心ですが、広く財団の事業を知ってもらうためにホームページやデジタルアーカイブの活用に注力します。また、今年度より歴史資料室年報を作成し、公開していきます。例年実施している多摩の歴史講座においては、今年度においても講座に参加できなかった方のために、講座内容を編集して、オンライン配信をしていきます。また、地域の市史編さん等への協力を通じての各施設との連携、各図書館との資料検索システムの横断的検索を目指すことにより、地域とのネットワークの強化を図っていきます。

II. 公益目的事業の事業計画概要

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

1. 美術(公1)

(1) 企画展覧会

① たましん美術館

たましん美術館は、今年度4会期の企画美術展を開催します。

1) 「多摩信用金庫90周年記念 相田みつを展」

令和5年4月8日 ～ 6月25日(68日間)

相田みつを美術館から、書家相田みつをの作品(書)をおよそ 50 点前後借用して行う展覧会。「未来」「子どもへのまなざし」といったテーマにふさわしい作品を集め、これからの未来への展望を鑑賞者に感じてもらう内容です。

2) 「大國魂神社宝物展」

令和 5 年 7 月 8 日 ～ 9 月 24 日 (64 日間)

府中市の大國魂神社に伝わる宝物を一堂に並べ、また府中市郷土の森博物館、ふるさと歴史館、国文学研究資料館の関連資料を合わせて展示することで、信仰、経済、文化さまざまな面で武蔵国の中心となった大國魂神社の歴史を紹介します。

3) 「五美大版画教員展」

令和 5 年 10 月 7 日 ～ 12 月 24 日 (60 日間)

多摩地域の美術系大学(武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学、日本大学藝術学部)の版画専攻との共催企画。各大学の版画教員の作品をあつめ、美術に関心のある中高生などに刺激を与える展覧会を行います。

4) 「邨田丹陵展」

令和 6 年 1 月 13 日 ～ 3 月 31 日 (64 日間)

立川市地域文化振興財団との共催企画展。砂川で活動を続け、歴史的場面を描いた「大政奉還」の壁画で知られる日本画家邨田丹陵に焦点をあてた初の展覧会。立川周辺の個人收藏家から作品を借用する他、全国各地の美術館からも丹陵作品を借用する予定です。

② たましん歴史・美術館

多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の收藏品の中から、テーマをしぼった作品を選定し、3 会期展示します。

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 1) たましんコレクション展1 | 令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 7 月 16 日 |
| 2) たましんコレクション展2 | 令和 5 年 7 月 29 日 ～ 令和 5 年 11 月 12 日 |
| 3) たましんコレクション展3 | 令和 5 年 11 月 25 日 ～ 令和 6 年 3 月 17 日 |

③ たましん本店 2 階「地域貢献スペース」ギャラリーの運営

たましん本店 2 階ギャラリーの企画選定員会の実施、展示計画、作家選定、展示作業の監督を行います。

(2) 調査・研究・収集・保存

① 所蔵作品の調査・研究

所蔵作品の詳細な調査を進め、そこで得た知見を展覧会に反映していきます。

② たましん美術館年報・紀要の発行

たましん美術館の活動の記録及び所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめ、今後毎年1冊のペースで刊行していきます。

③ 収蔵庫の環境改善

経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行い、専門業者による除塵防霉施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行っていきます。

④ 資料・図書収集、整備

多摩地域に関わる重要な作家の資料や地域における美術に関する図書等を引き続き収集していきます。

(3) 美術講座・美術教育

① たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク

展覧会担当学芸員が展覧会主旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行います。

② トークイベント、体験型イベント

1) 「相田みつを展」ギャラリートーク

「相田みつを展」会期中に、相田みつを美術館館長を招き、ギャラリートークを行います。

2) 「大國魂神社宝物展」講演会

「大國魂神社宝物展」会期中に、宮司や研究者による講演会を行います。

3) 「五美大版画教員展」ワークショップ・講演会

「五美大版画教員展」会期中に、参加アーティストによる一般向け参加型ワークショップおよび講演会を行います。

4) 「邨田丹陵展」スライドトーク

「邨田丹陵展」会期中に、展覧会担当学芸員がトークイベントを行います。

③ 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演を予定しております。

講師 斎藤陽一氏

(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー)

会場 くにたち市民芸術小ホール

募集人員 毎回60名(延べ180名)

受講料 無料

④ 博物館実習

大学において学芸員養成課程を履修中の学生を対象とした、5日間程度の博物館実習(講義・実務)を行います。

(4) 連携

① 学校との連携

立川市を中心とした小中学生を対象に、たましん美術館において鑑賞教室の受入れを行います。また、地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へ繋げていきます。

② たましん美術館周辺地区との連携

たましん美術館の周辺地区の施設(グリーンズプリングス、ファーレアート、立川市)との交流を図り、様々な連携企画を行っていきます。

(5) 広報・普及活動

① 広報活動の実施と広報活動手段の拡充

当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行います。また、多摩信用金庫各店に設置されているデジタルサイネージにおける展覧会の案内を継続的に実施していきます。

② 展覧会スケジュールの発行

次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行します。

2. 歴史(公2)

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記の通り、各号ごとに特集テーマを予定しています。

190号「多摩の大学アーカイブズ」(仮題)	令和5年5月31日発行
191号「資料を3Dで記録する」(仮題)	令和5年8月31日発行
192号「多摩と地震」(仮題)	令和5年11月30日発行
193号「多摩の作家と人間像」(仮題)	令和6年2月29日発行

(2) 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。資料については、当財団のホームページでも検索ができます。

また、伊与田昌男コレクションの利用・公開に向けて、写真資料の保存環境構築及び調査研究を開始します。歴史資料室の活動状況については、年報を作成し、当財団のホームページにて公開していく予定です。

(3) 多摩の歴史講座

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。会場は多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、100名を募集します。ただし、新型コロナウイルス感染の状況によっては、定員数を減らします。受講料は無料です。

また、上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。ホームページで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。

(4) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館、東京都公文書館(ともに国分寺市)等との連携を更に深め、また市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化していきます。

また、NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。

(5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は計23回となりました。コロナ禍で一時的に中断していた武蔵野支店地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。

また、「多摩の金融史」関係資料の活用として、令和5年2月にオープンした「TAMA MIRAI SQUARE」(旧本店)1階エントランススペースに、明治時代から現在に至る多摩の金融史に関連する写真や表、解説文をパネルで展示し、順次更新していきます。より詳しく知りたい人のためには、『多摩のあゆみ』連載の「多摩の金融史」の論文をホームページに掲載してQRコードから見られるようにします。

(6) 広報・普及活動

① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。

② 歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。

Ⅲ. 収益事業

1. 物品販売事業（収1）

(1) 物品販売事業

たましん美術館に併設のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、財団発行の書籍を販売します。また、地域の作家の陶器、染物や地域企業のグッズ、各種雑貨等の委託販売を行います。

Ⅳ. 管理

1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第9号)

(1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 令和2年6月22日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 令和4年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)
- ③ 監事 令和4年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)

(2) 理事会等の開催

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 6,226千円)

(1) 企画展覧会

① たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				予 算 額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	開催 日数	
1	多摩信用金庫90周年記念 相田みつを展	共催	2023年4月8日(土)～6 月25日(日)	68	0
2	大國魂神社宝物展	共催	2023年7月8日(土)～9 月24日(日)	64	1,393
3	五美大版画教員展	共催	2023年10月7日(土)～ 12月24日(日)	60	1,918
4	邨田丹陵展	共催	2024年1月13日(土)～ 2024年3月31日(日)	64	928

②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	たましんコレクション展1	自主	2023年4月1日(土)～7 月16日(日)	93	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、展示する。	195
2	たましんコレクション展2	自主	2023年7月29日(土)～ 11月12日(日)	91	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、展示する。	195
3	たましんコレクション展3	自主	2023年11月25日(土)～ 2024年3月17日(日)	90	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、展示する。	195

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	たましん本店2階地域貢献スペース運営	自主	通年	たましん本店2階地域貢献スペースの展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督を財団学芸員が行う。企画選定委員会の実施も含む。	230

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画		事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名			
1	所蔵作品の調査・研究		所蔵作品の詳細な調査を進め、そこで得た知見を展覧会に反映する。	468
2	たましん美術館年報・紀要の発行		たましん美術館の活動の記録および所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめ、今後毎年1冊のペースで刊行していく。	300
3	収蔵庫の環境改善		経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行う。専門業者による除塵防霉施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行う。	144
4	資料・図書の収集		多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を引続き収集する。	30

(3) 美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。	0

② トークイベント、体験型イベント

1	相田みつを展ギャラリートーク	共催	日時未定	「相田みつを展」会期中に相田みつを美術館館長を招き、ギャラリートークを行う。	0
2	大國魂神社宝物展講演会	共催	日時未定	「大國魂神社宝物展」会期中に、宮司や研究者による講演会を行う。	20
3	五美大版画教員展ワークショップ・講演会	共催	日時未定	「五美大版画教員展」会期中に、参加アーティストによる一般向け参加型ワークショップおよび講演会を行う。	50
4	邨田丹陵展スライドトーク	共催	日時未定	「邨田丹陵展」会期中に、展覧会担当学芸員がトークイベントを行う。	0

③ 美術講演会

1	美術講演会		共催	日時未定	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演を予定。 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館プロデューサー」) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人数 毎回60名(延べ180名) 受講料 無料	100
---	-------	--	----	------	---	-----

④ 博物館実習

1	博物館実習受け入れ		自主	日時未定	大学において学芸員養成課程を履修中の学生を対象とした、5日間程度の博物館実習(講義・実務)を行う。	0
---	-----------	--	----	------	---	---

(4)連携

① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域の学校との連携	自主	通年	立川市を中心とした小中学生を対象に、たましん美術館において鑑賞教室の受入を行う。また、地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へ繋げていく。	0

② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	たましん美術館の周辺地区の施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていく。	0
2	ファーレアートとの連携				
3	立川市との連携				

(5)広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団及び美術館ホームページへの展覧会情報公開を継続して行う。ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行う。また、多摩信用金庫各店に設置されているデジタルサイネージにおける展覧会の案内を継続的に実施する。	0
2	展覧会スケジュールの発行	自主	通年	次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行する。	60

2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 11,521千円)

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	190号「多摩の大学アーカイブズ」(仮題)	自主	5月	多摩地域にキャンパスをもつ各大学のアーカイブズ機関と各機関が所蔵する地域資料を紹介し、各大学の歴史資料は年史編纂や自校史教育において利活用されてきましたが、近年は地域資料としての一面も注目されています。本特集を通じて、自治体や地域博物館、在野の郷土史家や市民の方々に向けて、大学アーカイブズの存在を広く発信します。	2,250
2	191号「資料を3Dで記録する」(仮題)	自主	8月	3Dスキャンによって博物資料を立体的に記録することにより、デジタルアーカイブなどによる立体的な資料公開や、将来の資料修復に備えたデータの蓄積が進んでいます。立川市教育委員会、国分寺市教育委員会、西東京市教育委員会、浅川地下壕を保存する会などの活動から、資料を3Dで記録、公開する動きを紹介し、	2,250
3	192号「多摩と地震」(仮題)	自主	11月	2023年は関東大震災の発生から100周年という節目の年にあたります。そこで、多摩地域の各時代の人々が地震や震災とどのように向き合ってきたのか。また、近い将来の発生が懸念されている首都直下地震について、防災の観点から紹介します。多摩地域の過去・現在・未来にわたる地震活動について考える特集とします。	2,250
4	193号「多摩の作家と人間像」	自主	令和6年2月	多摩の近代文学については第65号(平成3年11月号)特集で地域と作品の関わりを、山本貴夫著『多摩文学紀行』では作品の舞台を紹介してきました。以後、各文学館などでは特別展などを通して作家の人間像の新たな解明が進んでいます。各館の最新の研究から、作品を通して多摩の作家の人間像を考える特集とします。	2,250

(2) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	392
2	伊与田昌男コレクションの再整理・調査 (保存環境構築および調査研究)	自主	通年	伊与田昌男コレクションは1992年の寄贈以来、写真原板や紙焼き写真、アルバム等の現物整理(28,000点以上)および目録化・デジタルデータ化を進めています。しかしながら、写真資料に適した保存環境の整備やネガ・ポジの保存処理は不十分であり、伊与田昌男本人および伊与田作品に関する調査研究も十分に進んでいません。当コレクションの利用・公開に向けて、写真資料の保存環境構築および伊与田昌男に関する調査研究を開始します。	165
3	歴史資料室年報の作成	自主	通年	歴史資料室の主たる事業である『多摩のあゆみ』の刊行、「多摩の歴史講座」の開催、当室の調査・収集、整理・保存、利用・公開、専門職員の活動報告を掲載します。また、各活動における室員の調査・研究成果を発表する場とします。年報の編集作業および発行は歴史資料室で行い、当財団ホームページにPDFデータで公開する予定です。	30

(3)多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施します。(テーマは未定) 会場：多摩信用金庫府中支店 会議室(予定) 定員：100名(新型コロナウイルス感染拡大状況によっては定員数を減らします。) 受講料：無料	215
2	多摩の歴史講座のオンライン配信	共催	12月(予定)	上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。 ホームページで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。	27

(4)地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、各市町村とのネットワークを強化していきます。	0
2	資料検索システムの横断検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。	0

(5)多摩金融史関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、23回目まで掲載してきました。コロナ禍で中断していた武蔵野支店の地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。	100
2	「多摩の金融史」関係資料の活用	自主	通年	今年2月にオープンした「TAMA MIRAI SQUARE」(旧本店)の企画に協力しました。 エントランススペースに、明治時代から現在に至る多摩の金融史に関連する写真や表、解説文をパネルで展示し、順次更新していきます。より詳しく知りたい人のためには、『多摩のあゆみ』連載の「多摩の金融史」の論文をホームページに掲載してQRコードから見られるようにします。	70

(6)広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。	502
2	歴史資料室所蔵資料の デジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。	1,020

収益事業

3. 物品販売事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 578千円)

(1)物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	物品販売事業	自主	通年	たましん美術館のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。オリジナル商品については、旧御岳美術館からの継続商品も多数あるため、商品の入替を実施する。	578

令和5年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和5年度収支予算書(正味財産増減ベース)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	令和5年度 予算額(イ)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	令和4年度 予算額(ロ)	増減 (イ)-(ロ)
		公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	0	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0		10,000	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	2,840,000	2,400,000	40,000	0	2,440,000	400,000	400,000	0	2,370,000	470,000
入館料収益	2,200,000	2,200,000			2,200,000		0		2,000,000	200,000
図録販売収益	200,000	200,000			200,000		0		30,000	170,000
出版事業収益	40,000		40,000		40,000		0		40,000	0
物品販売収益	400,000				0	400,000	400,000		300,000	100,000
受取補助金	300,000	300,000	0	0	300,000	0	0	0	0	300,000
受取寄付金	78,880,000	18,500,000	0	56,000,000	18,500,000	190,000	190,000	4,190,000	83,880,000	△ 5,000,000
受取寄付金	78,880,000	18,500,000		56,000,000	74,500,000	190,000	190,000	4,190,000	83,880,000	△ 5,000,000
雑収益	1,950,000	1,570,000	350,000	0	1,570,000	0	0	30,000	730,000	1,220,000
雑収益	1,950,000	1,570,000	350,000	0	1,920,000	0	0	30,000	730,000	1,220,000
経常収益計(A)	88,580,000	22,770,000	390,000	60,610,000	83,770,000	590,000	590,000	4,220,000	91,590,000	△ 3,010,000
(2) 経常費用										
事業費/管理費(法人会計)	94,590,000	55,950,000	33,520,000	0	89,470,000	590,000	590,000	4,530,000	98,360,000	△ 3,770,000
売上原価	110,000	70,000	30,000	0	100,000	10,000	10,000	0	110,000	0
役員報酬	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000	0
給料手当	24,510,000	13,300,000	11,210,000	0	24,510,000	0	0	0	26,780,000	△ 2,270,000
臨時雇賃金	8,650,000	5,040,000	3,610,000	0	8,650,000	0	0	0	8,420,000	230,000
賞与引当金繰入	1,880,000	1,020,000	860,000	0	1,880,000	0	0	0	1,610,000	270,000
退職給付費用	870,000	580,000	290,000	0	870,000	0	0	0	810,000	60,000
法定福利費	5,270,000	2,390,000	2,670,000	0	5,060,000	0	0	210,000	4,600,000	670,000
福利厚生費	200,000	70,000	70,000	0	140,000	0	0	60,000	180,000	20,000
旅費交通費	1,500,000	900,000	550,000	0	1,450,000	0	0	50,000	1,320,000	180,000
通信運搬費	2,750,000	900,000	1,430,000	0	2,330,000	10,000	10,000	410,000	3,010,000	△ 260,000
減価償却費	150,000	130,000	0	0	130,000	0	0	20,000	600,000	△ 450,000
支払手数料	130,000	20,000	50,000		70,000	10,000	10,000	50,000	170,000	△ 40,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	280,000	△ 280,000
消耗品費	1,780,000	1,100,000	460,000	0	1,560,000	10,000	10,000	210,000	1,490,000	290,000
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000	△ 60,000
印刷製本費	10,410,000	2,250,000	8,050,000	0	10,300,000	110,000	110,000	0	10,580,000	△ 170,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	△ 50,000
光熱水料費	1,000,000	720,000	210,000	0	930,000	0	0	70,000	1,110,000	△ 110,000
賃借料	21,380,000	20,380,000	370,000	0	20,750,000	200,000	200,000	430,000	21,620,000	△ 240,000
保険料	820,000	750,000	0	0	750,000	0	0	70,000	1,140,000	△ 320,000
諸謝金	1,150,000	150,000	1,000,000	0	1,150,000	0	0	0	1,060,000	90,000
保守管理費	3,000,000	2,680,000	210,000	0	2,890,000	20,000	20,000	90,000	3,390,000	△ 390,000
会議費	370,000	0	170,000	0	170,000	0	0	200,000	310,000	60,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0
図書費	310,000	10,000	300,000	0	310,000	0	0	0	350,000	△ 40,000
委託費	6,710,000	3,060,000	1,910,000	0	4,970,000	0	0	1,740,000	7,260,000	△ 550,000
研修費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	200,000	△ 100,000
宣伝費	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	210,000	△ 110,000
仕入費	220,000	0	0	0	0	220,000	220,000	0	210,000	10,000
諸会費	510,000	230,000	70,000	0	300,000	0	0	210,000	710,000	△ 200,000
交際費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	△ 10,000
経常費用計(B)	94,590,000	55,950,000	33,520,000	0	89,470,000	590,000	590,000	4,530,000	98,360,000	△ 3,770,000
当期経常増減の部(A)-(B)	△ 6,010,000	△ 33,180,000	△ 33,130,000	60,610,000	△ 5,700,000	0	0	△ 310,000	△ 6,770,000	760,000
2. 経常外増減の部	0									0
(1) 経常外収益	0									0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0									0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,010,000	△ 33,180,000	△ 33,130,000	60,610,000	△ 5,700,000	0	0	△ 310,000	△ 6,770,000	760,000
一般正味財産期首残高	40,357,841	△ 301,802,879	△ 288,896,152	627,426,465	36,727,434	839,559	839,559	2,790,848	40,633,287	△ 275,446
一般正味財産期末残高(E)	34,347,841	△ 334,982,879	△ 322,026,152	688,036,465	31,027,434	839,559	839,559	2,480,848	33,863,287	484,554
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	849,471,936	545,433,642	0	302,559,000	847,992,642	1,479,294	1,479,294	0	849,471,936	0
指定正味財産期末残高(F)	849,471,936	545,433,642	0	302,559,000	847,992,642	1,479,294	1,479,294	0	849,471,936	0
III 正味財産期末残高(E)+(F)	883,819,777	210,450,763	△ 322,026,152	990,595,465	879,020,076	2,318,853	2,318,853	2,480,848	883,335,223	484,554